

○事業所名	福岡市立心身障がい福祉センターありんこ園		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	8名の常勤の言語聴覚士を配置し、聴覚障がいの特性を理解し、言語・コミュニケーション面を中心とした発達の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が聴覚障がいに関する基礎知識を身につけ、園児とのコミュニケーションに精通する。</li> <li>療育場面のビデオを観て職員間でカンファレンスを行う。</li> <li>多職種間で密に話し合いを重ね、療育場面の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門性を高めるため職員全体で研修や文献抄読の時間を確保する。</li> <li>専門性の底上げを図るため、同職種間での療育見学及びフィードバックを行う。</li> </ul>
2	親子通園を通して、保護者に聴覚障がい児を育てるスキルの獲得を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が獲得すべきスキルの順序性を理解し、児の発達年齢に即した内容を選択する。</li> <li>保護者とのコミュニケーションスキルについて同職種間でのOJTを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロールプレイなど実践的な内容を取り入れた系統的な職員指導を行う。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者ニーズに即した聴覚障がい児とその家族が交流する場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用形式(集団療育、個別療育)、利用頻度のばらつきが大きく、一堂に会する機会が設けにくい。</li> <li>在園児の居住地が広範囲に亘るため、来所に長時間を要し頻繁な来所が難しい児が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数、短時間から交流を目的とした活動を企画し、実績を重ねる。</li> <li>参加意欲につながるような企画をし、交流の場とする。</li> <li>使用する部屋の確保</li> </ul>
2			
3			